

佐潟野鳥観察舎建替事業 仕様・施工条件について

資料5-2

《主な仕様》

- ・既存観察舎と **同箇所・同規模（面積）・同機能**（2階観察室、屋上デッキ）とする。
- ・事前に実施した地質調査結果を受け、**新たに地盤改良工事を実施**し、観察舎の耐久性向上を図る。
- ・ハクチョウなど飛来する冬鳥への影響を避けるため、**令和8年の春～秋に工事予定**。
- ・観察室内に、佐潟で観察できる野鳥の紹介パネルなどの展示を予定（必要な備品があればお知らせください。）

《外観の特徴》

箇所	①屋上デッキ（床材）	②屋上デッキ（柵）	③外壁	④観察室（内壁、床材）
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高耐候性塩ビシート（防水・防滑） ・ 紫外線や風雨に耐久性有り ・ 床材の色彩が豊富 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 野鳥のほか、佐潟の景観も楽しめるよう 手すり式に変更 ・ 子どもの転落防止に配慮。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然木（自然と調和した外観） ・ 観下見板張り（厚み:18mm） ・ メンテ（塗替）により耐久性向上可 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内壁材はシナ合板張り ・ 木目が細かく、柔らかい印象 ・ 床材は、防滑性塩ビシート
事例	 <p>福島潟 雁晴れ舎（がんばれしゃ）</p>	 <p>佐渡トキ保護センター（トキテラス）</p>	 <p>佐潟 潟見鳥（かたみどり）</p>	 <p>内壁材：福島潟、床材：鳥屋野潟</p>